

登録コード	SGQ04900	開講年度	2026					
授業題目	数学科指導法演習				担当教員	志津 千代子		
英文授業名	Practical Training for Teaching Mathematics				副担当	小山 茂喜		
単位数	1	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	水曜・5時限		対象学年	3年
講義室	理学部第7講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	既習内容を踏まえ、授業研究や模擬授業等の実践的な活動を通して、教材研究・単元計画・指導案の作成について、専門的な能力・技能を身に付ける。							
(5)授業のキーワード	授業のデザイン							
(6)授業計画	第1回：数学におけるカリキュラムの変遷 第2回：数学教育で育む「論理的思考力」 第3回：数学教育とSTEAM教育 第4回：ICTを活用した授業設計 第5回：教科書研究(海外の教科との比較) 第6回：数学の教科書の使い方 第7回：数学科の授業形態について 第8回：数学における課題学習について 及び「授業のふりかえり」の入力							
(7)成績評価の方法	グループ活動、教材開発への取り組み、発表等を総合的に判断して評価する。							
(8)成績評価の基準	() 講義内容の理解 () 当日に課された課題レポートの内容 () グループでの取り組み状況 () 教材研究・授業計画の内容 () 発表(プレゼンテーション)の仕方 () 積極性等の授業への取り組み状況 のいずれにおいても達成目標で想定したレベル以上であれば「卓越している」、5項目までできていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「合格水準にある」。							
(9)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、当日の授業内容の理解を問う課題や次回の授業内容につながる課題を出す。次回の授業の冒頭で課題用紙を回収し、内容等を含め取り組み状況をチェックする。併せて、取り組み内容について、数名かの受講生に説明をしてもらうので、記載内容についてきちんと説明できるようにしておくことが求められる。また、授業計画の発表に際しては、グループの取り組み状況を簡潔にレポートにまとめて提出するとともに、教材研究の成果等をしっかりとアピールできるように、ポイントをわかりやすくきちんとまとめたうえで発表にのぞむこと。							
(10)履修上の注意								
(11)質問,相談への対応	授業以外の時間に教職相談室にて質問・相談を受け付ける。 授業終了後、時間的な余裕があれば、そのまま講義室でも質問や相談への対応は可能。							
【教科書】	「中学校学習指導要領(平成29年告示)」「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 数理編」(文部科学省)							
【参考書】	『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 数学』国立教育政策研究所(令和2年),『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 数学』国立教育政策研究所(令和3年),「新しい教科書の使い方～よりよい授業づくりのために～中学校編」(公財)教科書研究センター(令和5年),「すぐに使える学習者用デジタル教科書活用事例集(中学校編)」(公財)教科書研究センター(令和6年),「算数・数学の教科書の世界的潮流に関する調査研究報告書」(公財)教科書研究センター(令和4年)							